

性的マイノリティである方の依存症専門外来について

性的マイノリティの方の中で、物質使用障害や行動の依存症に困っている方を対象とした依存症専門外来を開設いたします。

セクシュアリティと依存症、さらに性感染症は、それぞれに偏見や差別が生じやすいことがわかっています。したがって、なかなかオープンに相談できる場所が少ないことが推測されます。

実際、「周囲に性的マイノリティについては話せるけれど、薬物やアルコールの問題や HIV やその他感染症については話せない」、「周囲に薬物やアルコールの問題は話せるけれど、性的マイノリティについては話せない」といった悩みを抱えている方は少なくありません。そこで、当院は性的マイノリティであり依存症の問題を抱えた方への医療を提供いたします。

セクシュアリティについては、「自分はゲイである、レズビアンである、バイセクシュアルである」など性的指向が明確である方や「自分はトランスジェンダーである、ノンバイナリーである」など性自認が明確である方、性的指向や性自認はまだ明確になっていないが、性的マイノリティであると自覚のある方も対象です。

●対象となる患者さん

- ① 初診時に 18 歳以上
 - ② 性的マイノリティであると自覚のある方
 - ③ 薬物やアルコールなどの物質使用障害、行動の依存症に困っている方
- 以上、①～③の全てを満たす方が対象となります。

●受診にあたっての注意事項

- ・精神科専門病院のため、ホルモン治療や感染症治療は行っておりません。
- ・改名、戸籍の変更手続きの際の診断書作成については対応しておりません。

●診察日

- ・毎週金曜日 10:30 (一枠のみ) ※4/7(金)より診療開始

●予約方法

- ・受診は電話予約制です。
- ※お問い合わせ時に「性的マイノリティである方の依存症専門外来受診の予約希望」とお伝えください。

●問合せ先、時間

神奈川県立精神医療センター 福祉医療相談科 依存症担当
電話：045-822-0241 (代表)
平日：午前 8 時 30 分～午前 12 時、午後 1 時～午後 4 時 30 分